

温度にいちばん敏感、な企業でありたい。



もっと、快適創造企業へ

あらゆる人たちが快適と感じる温度に、
もっと敏感な企業でありたい。

私たち長府製作所は、
長年培った給湯や空調などの技術を活かし、
もっと「人と地球にやさしい快適さ」を
創造する企業を目指します。

目次

ふく射タイプ

UFH-5922UG/UGP	3
FFR-5922G/GP	4
FFR-4222G/GP	4

温風タイプ

FF-4222G/GP	5
FF-4222G(U)/GP(U)	5
FF-3022G/GP	5
FF-9322G/GP	6
FF-9322G(U)/GP(U)	6
FF-6222G/GP	6
FF-6222G(U)/GP(U)	6
FF-1523G/GP	7
FF-1523G(U)/GP(U)	7

冷暖房機

CA-1122RG/RGP	8
CA-1122RG(U)/RGP(U)	8

ガス集中制御システム	9
関連部品	11
寸法図	13



このマークは省エネ性(エネルギー消費効率および省エネルギー基準達成率)の記載を明示するものです。商品をお選びになる時のご参考にしてください。
「省エネルギー基準達成率」は、省エネ法に定められた年度の基準に対する達成率を示しています。達成率100%以上の場合は、マークをグリーンで表示しています。



グリーン購入法について

本カタログに掲載の製品は、2001年4月から施行されたグリーン購入法(国などによる環境物品などの調達の推進などに関する法律)が定める基準をクリアする環境に配慮した製品です。

暖房のめやすについて

- ①「寒冷地」とは、室内外温度差が30℃の地域(札幌など)を指し、「温暖地」とは、室内外温度差が15℃の地域(東京、大阪など)を指します。
 - ②寒冷地の「木造(戸建)」とは、二重窓、断熱材(グラスウール)75mmの木造戸建住宅、「コンクリート(集合)」とは、二重窓、断熱材(ポリスチレンフォーム)30mmのコンクリート集合住宅を指します。これ以上の高断熱住宅では、木造で約1.2倍、コンクリートで約1.5倍の広さまでがめやすとなります。
 - ③温暖地の「木造(戸建)」とは、木造戸建住宅、「コンクリート(集合)」とは、コンクリート集合住宅を指します。いずれも一重窓で断熱材なしの建物です。断熱材が施してある場合は約1.2倍の広さまでがめやすとなります。
- 上記の諸条件・諸数値は、(一社)日本ガス石油機器工業会の自主基準によります。

【暖房機適室基準値】

寒冷地	木造(戸建)住宅1畳当り:392W(1㎡当り:237W)
	コンクリート(集合)住宅1畳当り:246W(1㎡当り:149W)
温暖地	木造(戸建)住宅1畳当り:398W(1㎡当り:240W)
	コンクリート(集合)住宅1畳当り:288W(1㎡当り:174W)

【床暖房敷設量基準値】

床暖房における床パネル敷設量数
床暖房内蔵暖房機…(床パネル1畳当り:151W(130kcal/h))